

6/17調布市環境フェア

今年は、調布市内に残る雑木林の保全活動をしているグループのマップをパネル展示し、日ごろの活動の様子を紹介しました。体験コーナーの丸太切りも好評で、55名が体験。切り取った丸太は記念にお持ち帰り頂きました。葉っぱコーナー参加者に「自然だより」を手渡しました。

分かるかな？

葉っぱの見分け方コーナー



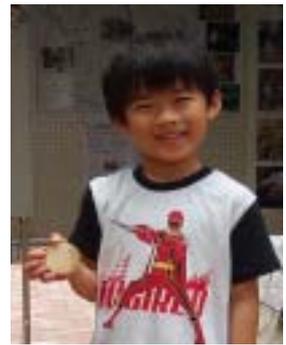
古いも(?)若きも

丸太切りにトライ!



直径10cmの

桜の丸太切り部門



「ボクがんばったよ」

文字が書ける葉っぱ「タラヨウ」に「おとうさんありがとう」と書く親子



丸太切りの台座は、建設ユニオン調布支部の皆さんに提供していただいた。



背中にも葉っぱ



調布の自然 里山編 その1 ~ 染地の田んぼ

調布ではまだまだ梅雨が続きますが、右の写真は6/4の染地の田んぼです。左下の小さい写真は、苗が植えられた田んぼに近くのポンプ小屋から汲み上げた地下水が勢いよく入れている光景です。

このあたりは右端に見える民家のあたりも数年前は田んぼでした。すぐ隣は4月の環境モニターでコオニタビラコやセトガヤが見られた田んぼの跡でしたが、今年はどうやら人手不足のためそこには田植えがされていませんでした。

6月14日、写真近くの90坪ほどの小さな田んぼで「お田植え祭」が行われました。これは宮中の新嘗(にいなめ)祭のために献上されるお米を作る儀式です。例年各都道府県から献上されるのがしきたりですが、今年の東京のお米はここ調布から決まったのです。田植えのときは調布警察が警備にあたりおごそかに行われたとか。

今年も水を張ったとたんにカモが飛来し、夕方になるとカエルの大合唱が聞こえます。なんだかホットする風景です。(NK)



調布市環境基本計画

モデル事業に着手 ~ 深大寺・佐須地区 ~

調布市では、2006年3月に策定した「調布市環境基本計画一人と自然の共生を目指す町=調布」に基づき、「豊かな緑・水・景観を守り育てるための取組」として、深大寺・佐須地区でのモデル事業に着手しました。

今年度(18年度)は、植物・鳥類・昆虫類・魚類の自然環境調査、地形・地質などの現地調査、歴史・地理などの文献調査を行っています。すでに18の地点で専門の技術者による現地調査が始まっており、7月中には第1回の現地調査結果が報告される予定です。(環境保全課)

ワーキンググループ

モデル事業の実施に向けて、公募市民4名や環境基本計画策定委員会の委員を含むワーキンググループを7月中に立ち上げ、具体的な作業にとりかかる予定です。

【問】環境保全課：042-481-7086

◆ ----- 里山の保全 ~ 市民のうごき 6月 ----- ◆

人間樹林の会

6/18(日)

小雨の中、当初予定していたシャガの広場の伐採木の片付けを変更し、雑木林の広場の笹刈りを7人でしました。昨夏一度刈ったせいか、笹は茎軟らかく刈り易くなり『植物の学習効果』には驚かされます。

ドクダミとアジサイの白さが雨の中で映えていて、そこだけが浮き上がっています。アジサイ群はまだ目立たずひっそりしています。いずれ存在感を示すようになるでしょう。環境フェアで配布していたメトロレンガ(下水汚泥を焼却し固めた



白いあじさい!



レンガ)を誘導路や植物保護等に利用していくことにしました。来月8/20(日)は、植生調査と保全活動です。(レポート:安部宝根)

カニ山の会

6/10(土) 7名参加。

前日まで雨、森全体が湿っていました。五月は当日が雨で活動はお休みだったので2ヶ月ぶりの活動。活動地の林、かに山東樹林は、密生するシュロの葉の下の暗がりが増し、あたりの湿気と合わさり息苦しいほどになっていました。今回はこのシュロの伐採・剪定と笹の刈り取りを行いました。シュロを除いた林の部分はスポット的に明るくなり、光が必要な植物の再生が期待できそうです。しかし、明るい林にすること

が出来たのはまだわずかですが、作業中に隣接の住人から、「林に容易に人が入ってしまうようになるのは困る」とのお話もあり、樹林地の利用者や地域へ配慮と管理作業効用の両方を満足させていくような、より意識的な作業の確立の必要を感じました=「かに山の雑木林の管理計画」の立案。

次回7/1(土)は、この計画立案の基礎資料にもなる『かに山利用者アンケート調査』を現地で行います。(レポート:小林冬樹)

田んぼの学校 (佐須)



田植え風景 (写真:kaji-naomi)

6/10(土)

ここ数年、水不足に悩まされ今年は一先きに田植えをしようとして準備していたが、苗が思ったように育たず結局田植えは雨待ちになってしまった。9日にやっと大雨が降り、しるかき・田植えにこぎつけた。(尾辻)

保全課の窓口

6月17日(土)、市役所前庭などを会場に、第34回調布市環境フェアを開催しました。

例年6月第一土曜日の開催でしたが、今年第三土曜日。梅雨の真っ只中の開催でお天気が心配されていましたが、環境フェアはこれまで降られたことがなく、特異日と一部でささやかれているほどで、今年も無事に開催できました。前日と翌日が大雨でしたので、まさに特異、奇跡です。

第一会場の市役所前庭では12のブースが出展され、それぞれの活動をPRしました。また、青少年ステーション(CAPS)の利用者らによるジャンベ(アフリカの太鼓)演奏が会場を彩ってくれました。第二会場のグリーンホール小ホールでは、写真家・浅井慎平さんの講演会が開催され、第三会場の調布駅前公園では美化活動が展開されました。

来場者数は、三会場合計で1,600人余りと全体的に低調でした。貴重な梅雨の晴れ間に足を運ぼうという方は少ないのかも知れません。

市の新規事業のPRと会場の関係で、いくつかの団体に出品を見送っていただいたのは、本当に残念でした。

来年は、今年の反省も踏まえて企画を練り直し、より多くの出展をいただけるようにしたいと考えています。(担当:青柳)



調布あちこち・その9

・小島町2丁目 街中の風景

今年、調布駅前通りに面したマンションの玄関軒先にツバメが巣をつくった。6月26日朝、チチチとさかんに聞こえる鳴き声で、ツバメのヒナが孵ったことがわかり、急いで1階玄関にかけつけると、ヒナたちが大きく口を開けて、えさをもらっていた。今年是一般家庭の庭先をはじめ、そここで虫類が大量発生しているようなのですが、鳥たちはそういうことも予め分かっていたのか。

先日、野川の水质調査にでかけたおり、大量の虫が発生して、桜の葉がすべてレース状になっており、調査用の紙をしばらくおいておくと、オレンジがかつた茶色いフンが点々と着いていたほど。子育ての親鳥たちは今年はいさ不足で悩むこともないようだ。街中は、人の目があるのでツバメにとつてはかえって安全に子育てが出来る場所。5羽みなが元気に巣立ってほしい。

(小島町在住 江刺)

里山の保全 ~ 市民のうごき 6月

ちょうふ環境市民懇談会運営委員会

6/12(月) 19:30~21:00
たづくり12F会議室

1. 「調布市環境基本計画」本編は運営会議に1冊確保し希望者に回覧することとした。

2. 生涯学習情報コーナーのサークル紹介に懇談会関連団体も登録していくこととした。ホームページに掲載しても良いという団体は申請書を6/21までに保全課を通して提出する。

・生涯学習情報コーナーの登録のジャンルに、「環境の項目」を付け加えてもらいたい(それがないと検索しにくい)。

3. 「調布市環境計画」本編の冊子を、環境保全関連の市民団体の希望団体には是非提供して欲しい。

4. 環境基本計画ができたと言うことで関係課から個別具体の場所について意見を求められているが、まず、環境基本計画を具体化するプロセスについてきちんと説明をして欲しい。

5. 調布市の環境関連情報(工事や植栽の剪定の計画等、環境保全課以外の関連情報も含めて、決定されているもの全て)をメーリングリストで公開して欲しい。

全ての情報を全ての市民に伝えるというのは費用対効果などの観点からも現実的ではないので、必要な情報を教えて欲しい。

6. 環境フェアの最終つめ。

7. 懇談会の野外イベント企画
開催主旨は一般市民にも「環境保全の取り組みを知ってもらう」こととする。

・開催日は10/28の「そぞろ歩き」と併催という形で行う。

・「そぞろ歩き」は、神代農場を観察ポイントに入れ深大寺周辺の散策を行う方向で工夫する。

・7/18に第2回雑木林会議があり、そこで野外イベントの案内ができるように、次回7/10の運営会議で詳細を検討する。以下略。

次回: 7/10(月) 18:30~
場所: たづくり1202会議室

市民活動カレンダー & おしらせ

かに山の会

7/1(土) 10:00~12:00

集合場所: 深大寺自然広場、野草園横

内容: シュロ伐採、笹の下刈り、

今回のみ第1土曜に行きます。作業できる服装で直接集合場所へおいで下さい。

7/8(土) 9:00~15:00

集合場所: 高尾山口駅改札前

内容: 環境モニターの方たちと合同で高尾の森の観察をします。

持ち物: 弁当・水筒・図鑑など

環境モニター

7/8(土) 9:00~15:00

集合場所: 高尾山口駅改札前

内容: 小澤講師とともに高尾山の植物観察。

持ち物: 弁当・水筒・図鑑など

メンバー随時募集中!

若葉町3丁目第3緑地-保全活動

7/9(日) 10:00~12:00

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: 樹林地の整備

連絡先: 緑と公園課 042-481-7083

人間樹林の会

7/16(日) 9:30~12:30

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: 方針梓植生調査と保全作業(誘導路づくりにむけて)

原則毎月第3日曜日に活動しています。問合せは環境保全課へ 042-481-7086

凸凹山公園ワークショップ

-布田崖線緑地を考える市民の会-

7/23(日) 10:00~12:00(雨天中止)

集合場所: 現地(若宮八幡向かいの緑地)

内容: ミニプール・そうめん流し・スイカ割り(但し花火大会日程次第で7/30に順延)

連絡先: 緑と公園課: 042-481-7081

どんぐり林公園(富士見町3丁目)

7/9(日) 10:00~12:00

内容: 「落ち葉だめ」の入れ替え作業と整備

主催: 富士見町地区協議会

問合せは環境保全課へ 042-481-7086

奄美通信 その2

環境モニターなどで活躍していた山室さん(現 奄美のマンガースパスター)から6/22のお便りです。

こちらは昨日梅雨が明け、久しぶりの青空が広がりました。今年の梅雨は特に雨がが多く、始めの一週間で平年の雨量を上回ったそうです。おかげで梅雨の間は、川の増水やら土砂崩れによる道路不通やらで仕事が予定通り捗りませんでした。おまけにワナの中に体長十センチ直径三センチもあるナメクジが居座っていることしばしばで、ナメクジ大嫌いの私としては気色悪いこと甚だしいかぎり。

でももうそんな日々とはオサラバです。梅雨後半から雨の合間にはセミの合奏が聞こえはじめました。この半年、鳥のさえずりのほかはシンとしていた森が喧騒に包まれる季節の始まりです。いよいよ待ちに待った夏の到来!



ヒカゲヘゴが繁茂する奄美の森

編集後記

6/10(土) かに山へ向かう途中、佐須の田んぼでは、農家の人が佐須用水のフタを開けて田んぼに流れ込む水量の調節をしていました。田植えの時期は、用水から野川に入る水は止まってしまう。

6/17(土) 11人が参加しての水生物調査は野川の中に入ってアミで生き物を採取。きれいな流れに見える野川ですが、生き物からみるとどうかな?

今回は前日の雨で生き物が流れて生物数が少なく「汚いところに棲む生き物」が多く見つかりました。つゆの晴れ間の気温27の中でも、川辺の日陰は涼しい風が心地良いですね。

では、7月のニュースレターをお届けします。

(編集当番: 江刺益子)

会議日程

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議

7/10(月) 18:30~20:00

たづくり 1202会議室

内容: 環境市民懇談会・秋のイベントについて、ほか

ちょうふ雑木林連絡会

7/18(火) 18:30~20:00

たづくり 303会議室

内容: 各保全活動グループの報告と今後の連絡会の進め方

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

ちょうふ環境市民懇談会

連絡先: 調布市環境保全課 tel 042-481-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

~ 調布市ホームページでカラー版がごらんいただけます ~

市公式HP [くらしのガイド](#) 環境 環境学習 自然だより